

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上通信無線委員会
気象レーダー作業班 報告書 骨子(案)

- I 検討事項
- II 委員会及び作業班の構成
- III 検討経過
- IV 検討の概要
 - 第1章 検討の背景
 - 第2章 気象レーダーの現状と動向
 - 2.1 現在の設置状況について
 - 2.1.1 C帯気象レーダー
 - 2.1.2 X帯気象レーダー
 - 2.1.2.1 公共機関又は研究機関によるもの
 - 2.1.2.2 民間企業によるもの
 - 2.2 X帯気象レーダーの利用動向
 - 第3章 気象レーダーの要求条件
 - 3.1 高性能型
 - 3.2 汎用型
 - 3.2.1 気象レーダーに求められる要件
 - 3.2.2 気象レーダーの観測手法
 - 3.2.2.1 送信波の特徴
 - 3.2.2.2 空中線の特性と走査方法
 - 3.2.2.3 ドップラ速度観測
 - 3.2.2.4 複数台のレーダーによる観測
 - 3.2.3 気象現象把握に必要な気象レーダーの諸元
 - 3.2.3.1 距離分解能
 - 3.2.3.2 観測範囲
 - 3.2.3.3 感度
 - 第4章 気象レーダーの技術的条件
 - 4.1 高性能型
 - 4.2 汎用型
 - 4.2.1 周波数帯
 - 4.2.2 変調方式
 - 4.2.3 周波数の許容偏差
 - 4.2.4 占有周波数帯幅の許容値
 - 4.2.5 空中線電力
 - 4.2.6 空中線電力の許容偏差

- 4.2.7 等価等方輻射電力
- 4.2.8 デューティー比
- 4.2.9 スプリアス発射又は不要発射の強度の許容値
- 4.2.10 空中線(利得、ビーム幅、サイドローブレベル)
- 4.2.11 隣接チャネル漏洩電力
- 4.2.12 測定法

第5章 気象レーダー間の共用条件

第6章 他の無線システムとの共用条件

6.1 同一周波数帯の他の無線システムとの共用検討

6.1.1 沿岸監視レーダー等

- 6.1.1.1 システムの概要
- 6.1.1.2 システムの諸元
- 6.1.1.3 共用検討モデル
- 6.1.1.4 干渉のメカニズム
- 6.1.1.5 共用システムの干渉除去機能・処理
- 6.1.1.6 共用条件
- 6.1.1.7 混信防止対策

6.1.2 BS/CS 放送受信設備

- 6.1.2.1 システムの概要
- 6.1.2.2 システムの諸元
- 6.1.2.3 共用検討モデル
- 6.1.2.4 干渉のメカニズム
- 6.1.2.5 共用システムの干渉除去機能・処理
- 6.1.2.6 共用条件
- 6.1.2.7 混信防止対策

第7章 周波数毎の使い分け

7.1 9.7GHz 帯の中での使い分け

- 7.1.1 高性能型
- 7.1.2 汎用型

第8章 周波数の選定方法等

8.1 周波数の繰返し利用

第9章 検討結果

第10章 今後の課題

10.1 9.7GHz 帯

10.2 9.4GHz 帯

- 10.2.1 他システムとの共用検討状況
- 10.2.2 実用化に向けた検討課題